

からだを育てる 感覚を磨く



今回は、教育を「身体」(からだ)の視点から考えてみます。子どもは生まれたその時から、身体感覚を通してあらゆる情報を受けとめ、自らを成長させています。とすれば、子どもを取り巻く環境が問題となりますが、環境の第一は、周りの人のあり方です。親、家族、地域などのありかた、それに大自然とのかかわりも加えて、子育てを考えてみます。

「からだ」を通して学ぶとはどういうことなのか、それはどのように子育てにつながるのか、そうした問題を長年考えてこられた生田先生と、「からだ」を通じた保育を日々実践しておられる秋田先生にご登壇いただきます。併せて、日本の古くからの子育てが、からだを育て感覚を磨く教育に通じるものがあつた、ということにも思いを馳せたいと思います。「身体を通じた教育」が人間形成の根幹にあるとの視点から、私たちの子育てを再考する知見を得ることを意図しています。

2016年
1月23日(土)
13:00~16:00
12:30 開場

会場 清澄庭園内
大正記念館

定員 100名

参加費 無料

※定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。
※FAXにてお申し込みの方は、こちらの用紙を当日会場へお持ちください。

- プログラム
- 13:00~ 開会の挨拶
 - 13:10~ 秋田 光彦氏(35分) —— パドマ幼稚園園長、大蓮寺住職、総合幼児教育研究会代表理事
 - 生田久美子氏(35分) —— 田園調布学園大学大学院人間学研究科教授・研究科長
 - 辻本 雅史氏(35分) —— 国立台湾大学教授、京都大学名誉教授 文学博士
 - 会場一体となったディスカッション(50分) コーディネーター 辻本 雅史氏
 - 16:00~ 閉会の挨拶

主催：公益財団法人 前川財団

後援：早稲田大学・早稲田大学国際言語文化研究所・総合幼児教育研究会

からだを育てる 感覚を磨く

開催日時 2016年1月23日(土)
12:30(開場) / 13:00~16:00

会場 清澄庭園内 大正記念館
東京都江東区 清澄3丁目3-9

アクセス ◆都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線
「清澄白河」駅下車 徒歩3分

お問合せ 事務局：公益財団法人前川財団
TEL/FAX 03-5639-1140

**アクセス
マップ**



講演者紹介



辻本 雅史

国立台湾大学教授、京都大学名誉教授 文学博士

著書『「学び」の復権 岩波現代文庫、『思想と教育のメディア史』ペリカン社ほか多数。日本教育史研究の第一人者で、東アジア諸国のほか、ヨーロッパ等でも活躍です。現在は台湾を拠点に、日本研究の国際化に尽力されておられます。先年、NHKラジオ講座「教育を「江戸」から考える」担当講師を務め反響を呼びました。思想と教育の歴史研究を通して、江戸時代の側の視点から、近現代の学校中心の教育のあり方に批判的な提言をされています。今回は全体コーディネーター役を務められます。



秋田 光彦

パドマ幼稚園園長、大蓮寺住職、総合幼児教育研究会代表理事

著書「今日は泣いて、明日は笑いなさい」(メディアファクトリー)、「仏教シネマ」(文春文庫)、責任編集に「生と死をつなぐケアとアート」(生活書院)など。パドマ幼稚園を中心とした幼児教育の全国組織の理事長を務められ、仏教、アート、まちづくり、コミュニティアートなど、「対話」と「協働」の新しい地域教育にかかわり、幅広く活動されています。パドマ幼稚園では、仏教に基づく身体教育・協同教育を押し進める一方、寺を開放した演劇やパフォーマンスなど地域における表現活動を推進されています。それぞれの事例を通して、＜型の身体技法＞というテーマに接近したお話をされます。



生田 久美子

田園調布学園大学大学院人間学研究科教授・研究科長

ご専門は教育哲学、認知教育学です。著書に『「わざ」から知る』コレクション認知科学6(東京大学出版会)、「職人の「わざ」の伝承過程における「教える」と「学ぶ」」(『実践のエスノグラフィー』茂呂雄二・編(金子書房))ほか。これまでの伝統的な知識観では「技能」や「実践」は、「事実に関する知識」に対して二次的なもの、従属的なものとして位置づけられてきましたが、こうした人間の「知識」について「わざ」の世界における教育の営みに注目して、独自の「知識観」を明らかにし、「事実の知識」にも「技能」にも包括できない、新たな「知」について論じられています。こうした事例を通して＜身体を通した人間形成＞というテーマに迫ります。

申込方法

参加申し込みは、WebフォームまたはFAXにてお受け致します。

右記QRコード、または <http://www.mayekawafoundation.org/form/20160123.html> よりお申込みください。

申込期限：2016年1月15日(金)まで



FAXでお申し込みの場合はこちらにご記入の上 FAX03-5639-1140 までお送りください。

ふりがな		TEL	
申込人氏名		E-MAIL	
		FAX	
住 所	〒 -		
ふりがな		TEL	参加合計人数 名様
同伴者氏名		E-MAIL	
ふりがな		TEL	
同伴者氏名		E-MAIL	

※ご記入いただきました個人情報は、シンポジウム以外の目的に利用することは一切ありません。なお、会場の様子をWebその他媒体に掲載する可能性がありますので、あらかじめご了承くださいませようお願いします。